



# 避難情報を理解しよう!

## ■ 避難情報と河川の水位の関係

市は河川の水位等を判断材料のひとつとし、避難が必要と判断した場合、市民の皆様に対し、避難情報を発令します。いつ、どのような避難情報が発令されるかは、下表のとおりです。

警戒レベル	市民の皆さんがとる行動	避難情報等	水位の名称 (洪水予報の標題)	越辺川 入西水位観測所	高麗川 坂戸水位観測所
5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生 情報※	氾濫発生 情報	越水(河川水位が堤防高を超えること) 破堤(洪水等により堤防が破壊されること)	
4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、 近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所 に避難しましょう。	避難指示 (緊急)	氾濫危険水位 (氾濫危険情報)	水位 3.2m	水位 3.4m
		避難勧告			
3 高齢者等は 避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害 のある方、乳幼児等)とその支援者は避難 をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等 避難開始	避難判断水位 (氾濫警戒情報)	水位 3.0m	水位 2.8m
2	避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)	氾濫注意水位 (氾濫注意情報)	水位 3.0m	水位 1.5m
1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)	水防団 待機水位 (-)	水位 2.0m	水位 1.0m

- ◆ 水位の基準は令和元年9月現在の数字です。
  - ◆ 市が発令する避難情報は河川の水位、気象状況、時間帯等を総合的に判断し発令します。
  - ◆ 避難情報を発令するタイミングは必ずしも上記のとおりにならない場合もあります。
  - ◆ 警戒レベル1～5は必ずしも順番に、すべて発表されない可能性があります。  
例：急激な気象の変化により警戒レベル3(避難準備・高齢者等避難開始)が発表されず、警戒レベル4(避難勧告等)が発令されることもあります。
- ※ 災害発生情報は、災害が実際に発生していることを市が把握した場合、可能な範囲で発表します。

## ■ 避難情報はどのように伝えられるの？

避難情報は防災行政無線で放送するほか、さかろんメールやツイッター等でも配信します。風雨により、防災行政無線の音が聴こえない状況も想定し、複数の情報取得手段を確保するようにしてください。

## ■ どこに避難すればいいの？

市では避難の際の混乱を防止するため、地区ごとにあらかじめ指定避難所の割り振りを行っています。また、水害発生時には、浸水想定区域内の指定避難所は使用できませんので、ご注意ください。水害時の指定避難所一覧は坂戸市HPをご覧ください。

坂戸市 避難所



※ 割り振られた指定避難所への避難を強制するものではありません。

## ■ 避難情報のレベルとは？

国の指針により、災害の危険度を分かりやすく示し、災害発生時に命を守る最善の行動を取れるよう、市が発令する避難情報と国・県が発表する防災気象情報を5段階のレベルに分けることになりました。避難情報等を伝達する際にも、警戒レベルが分かるように発信します。

### 放送例 (警戒レベル4・避難勧告の伝達文例)

緊急放送、緊急放送、**警戒レベル4、避難開始。**  
こちらは防災さかどです。  
〇〇地区に**警戒レベル4、避難勧告**を発令しました。  
〇〇川が氾濫するおそれのある水位に到達しました。  
速やかに全員避難を開始してください。  
避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難するか、屋内の高いところに避難してください。